

年 間 授 業 計 画

1 科目名	体育	2 履修学年	3学年
3 必修・選択	必修	4 履修単位	2単位
5 教科書	現代高等保健体育(大修館)		
6 副教材等			
7 学習目標	年間を通して体力を高める運動を行い、体力の向上を図る。自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、仲間とかかわり合いながら主体的に取り組む態度を身に付けさせる。		
8 年間授業計画			
月	学 習 単 元	学 習 事 項 等	
4	男女共通:体づくり運動	自己の運動体力を自覚し、その上で目標を設定し、積極的に運動に取り組む基礎をつくる。 11時間	
5	男女共通:体づくり運動、陸上競技	競技の特性を理解し、協力する態度や運動能力を育てる。 11時間	
6	男女共通:体カテスト、体育理論、水泳	競技の特性を理解し、協力する態度や運動能力を育てる。 14時間	
7	男女共通:水泳	自己に適した泳法を見つけるとともに、健康・安全を確保できるようにする。 11時間	
9	男女共通:水泳、体育理論	グループ学習を通して、各運動種目の実践を深め楽しくゲームを行える能力や態度を育てる。 11時間	
10	男子:【球技】ソフトボール、バスケットボール 女子:【球技】ソフトボール、バスケットボール	グループ学習を通して、各運動種目の実践を深め楽しくゲームを行える能力や態度を育てる。 14時間	
11	男子:【球技】ソフトボール、バスケットボール 女子:【球技】ソフトボール、バスケットボール	グループ学習を通して、各運動種目の実践を深め楽しくゲームを行える能力や態度を育てる。 13時間	
12	男女共通:体育理論、体づくり運動	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。10時間	
1	男女共通:体づくり運動	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。10時間	
2			
3			
9 評価の観点・方法			
主体的な取り組みや積極的な態度、また、仲間と主体的にかかわり合おうとする態度を観察する。それらに加え、タイム計測やスキルテストを行い総合的に評価を行う。			
10 学習上の留意点			
用具の安全確認の仕方や段階的な練習の仕方を理解させる。体力の違いを配慮させ、安全を確保しながら取り組ませる。十分な運動量を確保し、体力の向上を図らせる。			